

# 新冠町地域公共交通活性化協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

## 事業実施の目的・必要性

新冠町は北海道の南部、太平洋に面する日高地方のほぼ中央に位置し、総面積は585.81平方キロメートル、総人口は令和2年度時点で5,309人と推移している。(令和2年度国勢調査より)

新冠町の高齢化率は32.9%と全国、全道平均を大きく上回っている状況である。また、本町は過疎地域であり、町全体において交通不便地域となっているため、自家用車での移動が困難である高齢者や学生に対して、公共交通による移動手段の確保及び維持することは必要不可欠である。本町は効率的で利便性の高い公共交通の確立をめざし、平成21年度に「新冠町地域公共交通総合計画」を策定した。当該計画に基づき、道南バス泉線が廃止されたことから平成27年度より町が所有するバスを活用しながら地域間幹線系統バス(道南バス株式会社「日高沿岸線」との接続に配慮した新冠町コミュニティバス『メロディー号』の運行を開始した。今後は、安全面を最優先とし、可能な範囲でニーズに対応できる路線及びダイヤを検討しながら、高齢者及び学生の移動手段の確保・維持を図る。

## 生活交通確保維持改善計画の目標

【目標】高齢者及び学生に配慮した利用しやすい運行体制の整備

(1)1日平均利用者数11.7名以上

【車両減価償却費等国庫補助金】※運行補助と同じ

## 令和4年度事業概要

【定時定路線】一律200円(小人・障がい者半額)

- (1)新和太陽古岸線(農協スタンド横→新和土井宅前→新冠温泉) ~ 2便/日(循環)月・火・木・土運行103.1km
- (2)美宇東川線(農協スタンド横→美宇早川宅前→新冠温泉) ~ 2便/日(循環)火・水・木・金運行 74.0km
- (3)若園大富線(農協スタンド横→若園滑若橋前→新冠温泉) ~ 2便/日(循環)月・水・金・土運行 64.5km

## 地域公共交通の現況

- (1) 道南バス「日高沿岸線」
- (2) スクールバス町内7路線
- (3) JR日高線(現行のJR代行バス)

## 協議会開催状況

- R1.6.24 R2地域内フィーダー系統維持計画承認
- R2.1.22 H31地域内フィーダー系統維持計画事業評価
- R2.3.13 自家用有償旅客運送者登録変更
- R2.6.24 R3地域内フィーダー系統維持計画承認
- R2.11.20 自家用有償旅客運送者登録変更  
R2地域内フィーダー系統維持計画変更
- R3.1.29 R2地域内フィーダー系統維持計画事業評価
- R3.6.28 R4地域内フィーダー系統維持計画承認  
自家用有償旅客運送者登録変更
- R3.11.4 自家用有償旅客運送者登録更新
- R3.12.24 自家用有償旅客運送者登録変更
- R4.1.19 R3地域内フィーダー系統維持計画事業評価
- R4.3.28 自家用有償旅客運送者登録変更
- R4.6.27 R5地域内フィーダー系統維持計画認定
- R4.12.11 R4地域内フィーダー系統維持計画事業評価

## 令和4年度事業の実施状況

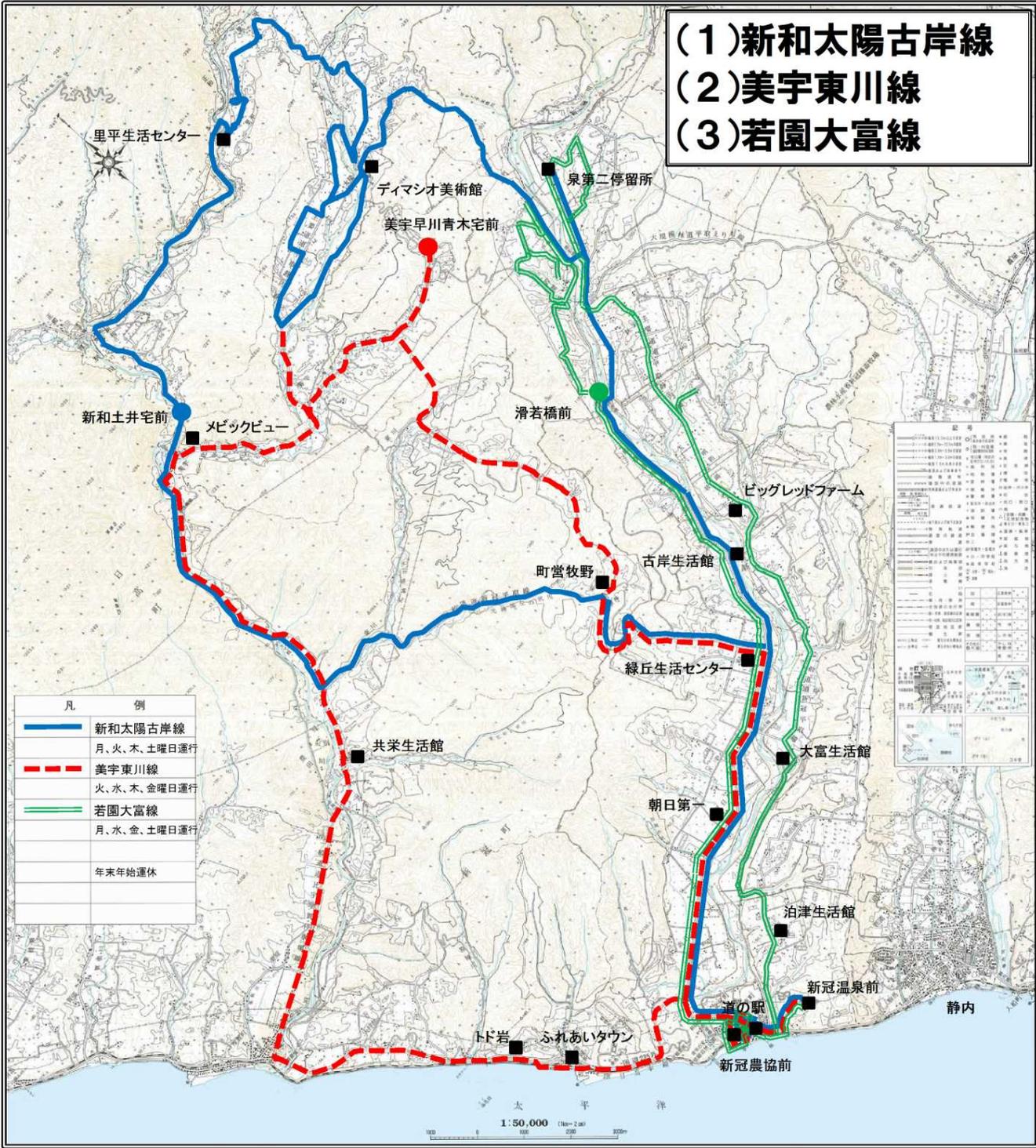
### 1) プロセス、創意工夫

- (1) 他部署との情報共有～必要に応じてバス利用者の健康状態や生活状態等について確認し情報共有を図った。
- (2) 委託業者との連携～バス利用者の利用状況について確認し、情報共有を図るとともに安全運行のための調整を図った。
- (3) 時刻表の周知～町内全世帯に向け配布を実施した。(希望者には個別時刻表を作成し配布した)
- (4) 各種助成券の周知～各種助成券の交付について全世帯に向け周知文書を配布した。
- (5) 他の公共交通との接続～他の公共交通との接続について問合せがあった際に説明を実施した。

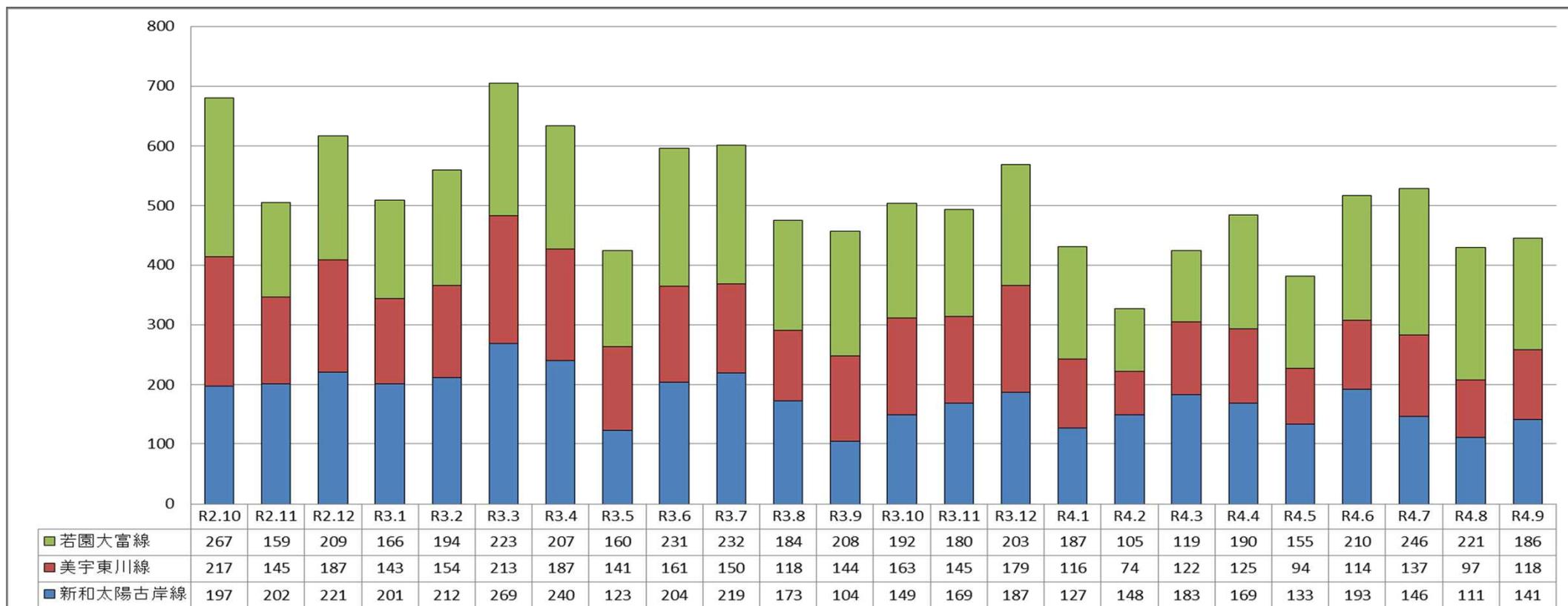
### 2) 運行系統

別紙路線図のとおり

(1)新和太陽古岸線  
 (2)美宇東川線  
 (3)若園大富線



### 3) 利用実績



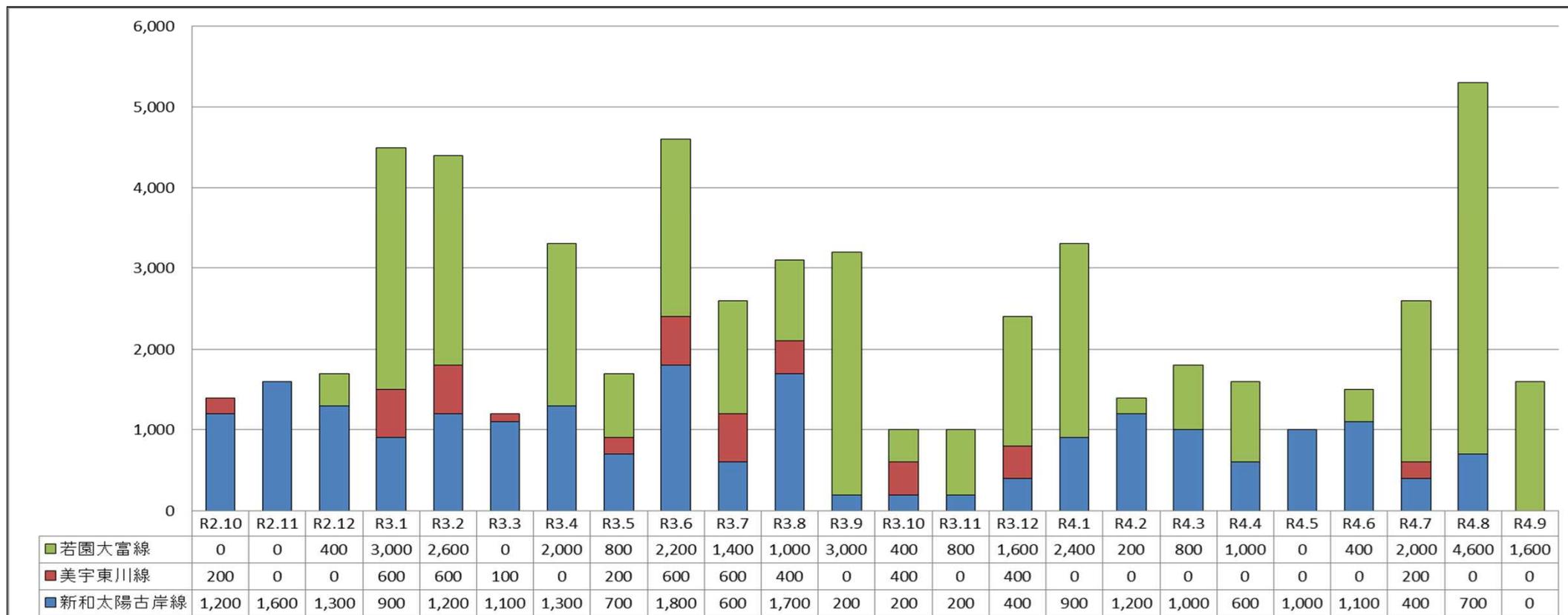
#### 【R2.10～R3.9利用者合計

新和太陽古岸線 ～ 2,365人  
 美宇東川線 ～ 1,960人  
 若園大富線 ～ 2,440人  
 合 計 ～ 6,765人

#### 【R3.10～R4.9利用者合計

新和太陽古岸線 ～ 1,856人  
 美宇東川線 ～ 1,484人  
 若園大富線 ～ 2,194人  
 合 計 ～ 5,534人

#### 4) 収入実績



#### 【R2.10～R3.9収入合計】

新和太陽古岸線 ～ 13,600円  
 美宇東川線 ～ 3,300円  
 若園大富線 ～ 16,400円  
 合 計 ～ 33,300円

#### 【R3.10～R4.9収入合計】

新和太陽古岸線 ～ 7,700円  
 美宇東川線 ～ 1,000円  
 若園大富線 ～ 15,800円  
 合 計 ～ 24,500円

## 5) 事業実施の適切性

計画の位置づけ通り本事業は適切に実施された。

## 6) 目標・効果達成状況

・1日平均利用者数11.7人に対し8.9人(5,534人/310日/車両2台)となった。

・計画を下回った要因としては、当該バスを利用していた町民が転居や転出、死亡されたことにより、利用者が減少したことにあると思われる。

・山間地域に居住する町民について一定の利用があり、集会への参加や買い物、医療機関の受診など高齢者の外出機械の創出につながっている。

### 【車両減価償却費等国庫補助金】

目標は運行補助と同じ。

## 7) 事業の今後の改善点

・目標の1日平均利用者数11.7人の維持とはならなかったものの、一定の利用者は維持している。

・当町は過疎地域のため町全体が交通不便地域となっており、自家用車での移動が困難な高齢者や学生に対して、公共交通による移動手段を確保するとともに、維持していくことは必要不可欠である。

・現在、利用している町民が今後も安心して利用し続けられるよう可能な範囲での細かなサービスを実施していく必要がある。(時刻表の個別作成、郵送によるバス券の配布、他の公共交通機関への接続方法の説明等)

## 8) 地方運輸局における二次評価結果

- ・自己評価のとおり、事業は適切に実施されている。
- ・利用者の減少が目標を達成できなかった要因と分析している一方、地域の移動手段の確保を維持していくことは必要不可欠であることから、利用者ニーズをくみ上げ、更なる利用促進の取組を行うことを期待する。
- ・持続可能な公共交通を維持する観点から、収支率といった事業効率の改善につながる目標の設定もご検討いただきたい。
- ・今後も継続的に維持していくためにも、地域公共交通計画を策定することを強く期待する。